※令和８年度以降入学生用

学校番号	T0315

令和８年度　理科

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「科学と人間生活」　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちの生活は科学技術に支えられています。科学技術なしに私たちの生活は成り立たないといってもよいでしょう。ともすれば当たり前すぎて気がつかないような事柄にも科学はかかわっています。また、科学技術の発展は決してよいことばかりを生み出したわけではありません。地球の温暖化や資源の枯渇、食糧問題など多くの課題も同時に私たちに課せられているのです。科学技術を私たちの生活の視点から学ぶとともに、自然と私たちの係わり合いについて考えてみましょう。

２　学習の到達目標

(1)　自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
(2)　観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。
(3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技術を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、人間生活と関連付けて表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和８年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	科学と技術の発展	科学と技術の集まり 海 土	a:科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解している。 b:科学技術の発展と人間生活との関わりについて科学的に考察し表現している。 c:科学技術の発展と人間生活との関わりに関心をもち、主体的に探究しようとしている。	課題探究① 中間考査 課題探究② 期末考査	観察実験 課題探究① 中間考査 課題探究② 期末考査	授業観察① 観察実験 課題探究① 授業観察② 課題探究②
	材料とその再利用	生活の中の様々な物質 金属 プラスチック セラミックス	a:材料とその再利用について理解している。 b:材料とその再利用について科学的に考察し表現している。 c:材料とその再利用に関心をもち、主体的に探究しようとしている。			
2学期	微生物とその利用	いろいろな微生物 微生物の利用 生態系での微生物	a:微生物とその利用について理解している。 b:微生物とその利用について科学的に考察し表現している。 c:微生物とその利用に関心をもち、主体的に探究しようとしている。	課題探究① 中間考査 課題探究② 期末考査	観察実験 課題探究① 中間考査 課題探究② 期末考査	授業観察① 観察実験 課題探究① 授業観察② 課題探究②
	光の性質とその利用	光 電磁波の利用	a:光の性質とその利用について理解している。 b:光の性質とその利用 について科学的に考察し表現している。 c:光の性質とその利用に関心をもち、主体的に探究しようとしている。			
3学期	太陽と地球	太陽系の天体と人間生活 潮汐と人間生活 太陽の放射エネルギー	a:太陽と地球について理解している。 b:太陽と地球について科学的に考察し表現している。 c:太陽と地球に関心をもち、主体的に探究しようとしている。	課題探究① 課題探究② 期末考査	観察実験 課題探究① 課題探究②	授業観察① 観察実験 課題探究① 授業観察② 課題探究

※令和８年度以降入学生用

	これからの科学と人間生活	これからの科学技術と人間課題研究	a:これからの科学と人間生活との関わり方について理解している。 b:これからの科学と人間生活との関わり方について科学的に考察し表現している。 c:これからの科学と人間生活との関わり方に関心をもち、主体的に探究しようとしている。		期末考査	②

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度